

東日本ユニオン大宮 ラ・マヒストラル

JR東日本労働組合
大宮地方本部
発行責任者:登坂 匡克
2018年2月13日 No.17

怒れ労働者！ 闘おう労働者！

2018春闘が1月22日の経団連主催「労使フォーラム」による労使討論によりスタートしました。安倍首相は「3%の賃上げ」を要請しましたが、経団連も要請に応じる姿勢を示しており、今春闘も「官製春闘」の様相を呈しています。しかし、賃上げは「労使交渉で決定」します。政府に任せても要求満額は勝ちとれません！

厚生労働省が2月7日に発表した2017年の「毎月勤労統計調査（速報値）」では、物価上昇に賃金が追いついていない現状が浮き彫りになりました。さらに民間シンクタンクの試算では手取りを維持するだけでも1.5%の賃上げが必要だと言われており「仮に3%の賃上げを勝ちとって、そのうち半分は増税で帳消しとなる」とも報道されています。

賃上げを実感するためには、要求満額を勝ちとるしかありません！



2018春闘方針決定

2月3日に開催された第5回中央委員会で、今2018春闘方針が決定しました。

1. 基本給ならびに初任給を社員一律6,000円引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。昇給係数は4係数とすること。

さらに、エルダー社員の賃金引き上げとグリーンスタッフの賃金も社員に準じて引き上げを求めます。



渡辺中央委員も討論に参加

今中央委員会には、渡辺執行委員が委員として出席しました。渡辺中央委員は第5回大会時とは打って変わって緊張も見せず、堂々と大宮地本としてエルダー組合員の利益を守るために闘ってきた成果と教訓を語るとともに、賃上げにむけて要求満額を勝ちとる決意を述べて、全体討論に加わりました。



2018春闘総決起集会に結集しよう！